

西野町小学校



テーマ

ふるさとを大切に、「もっと聴きたい」「もっと話したい」と夢中になる西野町っ子の育成
～共に学び、自ら解決していく力を育てる授業づくり～

テーマの説明



- ・地域ブランド「西尾の抹茶」の学習や御殿万歳の保存・継承を核に、子どもたちが郷土の伝統文化を親しみ理解していく中で、ふるさとを大切に思う心を育てる。
- ・「もっと聴きたい」「もっと話したい」という思いを子どもたちが抱けるような手立てを考え、授業づくりに取り組み、児童の主体性と他者を思いやる協働・共生の心を育む。

◎「茶育」を通して、おもてなしの心を学ぶ

「手もみ茶体験」を通して、地域に親しみ、特産物を理解する3年生
「校外茶摘み体験」を通して、地域産業の重要性と苦労を体験する4・5・6年生
「西野町茶会」を通して、保護者の方々をもてなし、感謝の心を伝える全校児童
特色を生かした「茶の図書室」の開館



◎「茶育」を核にした教科横断型学習で、生き方を学ぶ

家庭科の学習で、お茶のよさを生かした和菓子作りに挑戦する。
社会科の学習で、地域のお茶産業を通して、農作物の栽培の工夫・努力や流通を学ぶ。
「お茶学習」を通して、お茶に関わる多くの人との触れ合いから、人の生き方を学ぶ。



◎共に学び、自ら解決していく力を育てる授業づくり

◎対話や活動を通して考えを共有し、深める「授業作り」を探る。

- 「主体的、対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善
- 問題意識を大切にし、追究活動を適切に支援できる単元構想
- 「山場を中心とした授業展開」



◎他者理解を図り思いやりの心を育てる「学級づくり」を探る。

- 学級力向上プロジェクト
- ソーシャルスキルトレーニング
- コミュニケーションスキル



◎どの子ども落ち着いた生活ができるような学習環境づくりに取り組む。

- 望ましい生活習慣「西野町スタンダード」の定着
- 対話に焦点化した学習規律作りやシステム作り



本校では、児童自らが課題解決していく力を育て、能動的な学びに向けての授業改善に取り組みます。教科学習に「主体的、対話的で深い学び」の視点を取り入れ、集団での対話や活動を通して、知識や考え方を共有しながら深めていく「授業づくり」に取り組みます。

取り組みにあたって、「主体的な学び」では、児童の問題意識を大切にし、問題解決に向けて追究活動を支える発問の工夫や単元構想の作成、さらに「山場を中心とした授業展開」を取り入れます。「対話的な学び」には、何でも言い合える信頼関係が築かれた学級が必要です。そこで、他者理解を図り思いやりの心を育てる「学級づくり」や落ち着いた生活ができる「環境づくり」に取り組みます。